

大分市介護支援専門員協会 設立趣意書

平成12年4月に介護保険制度が創設され、制度発足から7年が経過しました。

そして、平成18年4月の介護保険法改正においては在宅や施設で生活している高齢者の方々に対して「要介護状態・要支援状態の軽減及び悪化防止」「医療との連携」「自立した日常生活重視」といった制度の基本理念実現を目指した改正点が示され、大幅な見直しがなされました。

それに伴い、私たち介護支援専門員の職能が本格的に評価されるとともにその役割と責任は非常に大きくなっていると言えます。

しかしながら実際の業務の中で介護支援専門員の置かれている現状は、専門的な研修機会の少なさ、ネットワークの不十分さ、施設の介護支援専門員への支援不足など多くの課題が残れています。

今後私たち介護支援専門員が担う役割を果たしていくため、専門的知識及び技能研鑽の場の確保、介護支援専門員のサポートシステムの構築、関係機関・団体との連携協力体制の確立、また意見集約と行政機関への提言等組織的に取り組んでいく必要があります。すでに中央では、日本介護支援専門員協会が設立され、大分県域でもNPO法人大分県介護支援専門員協会が活動を始めています。大分市域としても地域の介護支援専門員が集結し、先の職能団体との情報収集・管理・提供等について効率的・有効的に関わりあい、資質の向上・職業倫理の確立・情報交換等に向けて組織作りが急務であります。ここに「大分市介護支援専門員協会（仮称）」を設立することをご提案し、私たちの活動が地域住民の保健医療の向上と福祉の増進に寄与することを目指すものとします。

平成19年5月13日

大分市介護支援専門員協会設立発起人会

石 田	秀 幸
木 下	昭 生
工 藤	整
古 長	智美子
佐 藤	恵
嶋 田	丞
高 橋	勝
種子田	和 子
野 口	豊 寿
古 村	久美子
和 田	亮 二